

1 教科の目標

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (知識及び技能)
- (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (思考力・判断力・表現力等)
- (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 一年間の学習の流れを理解する ・自己紹介カード 自己紹介をするカードを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を喚起する。 ・美術科で学習内容、生活の中に美術が様々な用いられていることや美と機能性の関わりに気づき、その働きについて理解する。 ・自分を知ってもらい、美術の自分なりの学習目標を立てる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサン 美しいポーズや構図を考え、鉛筆によるデッサンをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンの基礎的技能を身につける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー 美術の多様な表現に対する興味・関心を育てそれらを鑑賞し良さを味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現の良さや美しさを味わい鑑賞に親しむ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩理論 色の三要素を理解する ・風景画 遠近法 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の三要素を理解させ、混色による表現を学ばせる。 ・遠近法を理解し、身近な風景を描く。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・立体造形 紙粘土で造形する。水彩絵の具で着色する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物を観察し、自分の感覚を働かせて色や形でそっくりに表現する楽しさを味わう。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・絵文字 デザインの楽しさを味わわせる 基本的なレタリングの技能を身につけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングを基に絵画と組み合わせた文字をデザインする。

3 評価の観点、資料、方法

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	授業内の発言・様子、ワークシート、実習での技能 制作品、作品カード
思考・判断・表現	授業内の発言・様子、ワークシート、制作品、作品カード
主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ワークシート、振り返りカード、制作品を総合的に絡めて評価